



金目川水系流域 ネットワーク

世話人会

せせらぎ通信

金目川の魚類

冊子を刊行

この度、金目川水系流域ネットワークでは東海大学教養学部人間環境学科の北野先生とゼミ生の西巻肖君――2018年3月卒業――の研究の成果を用いて

金目川の魚類を刊行いたしました。

私たちは金目川をこの上なく愛し、川からの沢山の恩恵を感謝して、金目川の事やそこにすむ魚のことに関心を持つていただけるように、また、生き物の事を学びたい子どもたちのために**金目川の魚類**を世に出した次第です。

4月23日（月）には、平塚市の落合市長へ表敬訪問をして**金目川の魚類**を進呈いたしました。



金目川の魚類

この本に載せた写真の魚は
すべて金目川でつかまえたものです



金目川で記録のある魚
全 60 種を掲載！

著:西巻 肖・北野 忠

(東海大学 教養学部 人間環境学科)

編集協力:金目川水系流域ネットワーク

海で生まれて金目川で成長するウナギ
土用のウナギで親しみ深いウナギ。

新月の冬、平塚海岸の金目川河口の左岸の波打ち際でシラスウナギをとっている人達を知りました。

ある時はタモアミで
太いウナギをすくい上
げましたが、嬉しさの
あまり、油断をしたら
スルスルと逃げられ、
その動きの早いことに
驚嘆をしました。

別の時はバケツに蓋をして重しをしたがウナギが持ち上げスルと逃げられたこともありました。ウナギの逞しさ驚愕をした次第です。その二ホンウナギが絶滅危惧種になったことはさみしい限り。

金目川の魚類へージ 5

サケ目 アコ科

アミ *Plecoglossus altivelis altivelis* (Temminck und Schlegel, 1846)

奥日本(本島)	南日本(本島)	西日本(本島)	上流	中流	下流	河口	水田
○	○						



奥日本(本島)-平成20年9月13日-生体

【全長】
70~120cm

【特徴】
体はやや横扁で、背びくが大きい。体色は銀白に輝くシルバーである。
口唇濃紫を帯び、なみだりをもつ。
鰓は黒い。

サケ目 サクラ科
原産地：東洋熱帯域

ニジマス *Oncorhynchus mykiss* (Kahama, 1720)

奥日本(本島)	南日本(本島)	西日本(本島)	上流	中流	下流	河口	水田
○	○						



奥日本(本島)-平成20年9月13日-生体

【全長】
30~100cm

【特徴】
体には虹色の鱗の模様がある。
鰓は紅色である。
奥日本(本島)-奥日本(本島)の上流で、寒川など比較的冷たき水域で暮らす。
奥日本(本島)-奥日本(本島)の下流や河口部など比較的暖かい水域でも暮らす。
【生育環境】
太平洋・大西洋沿岸の外来種である。

21

[illegible]

金目川で生まれて海で冬を過ごし、海水
温と川の水温が15℃前後の同じころの、
4月の中旬。金目川の下流にアユの稚魚
が纏まって遡上していた姿。水深は10
cm位、陽射しを受けてスイスイと泳いで
いました。ボスが50匹を引率していまし
た。私たちはその様子に見惚れていつま
でも離れがたい思いをしました。

アユは10月下旬の時に産卵をして海で冬を過ごします。産卵のあと親アユは血に染まつて一生を終えていきます。

7月の大雨のあと、河原の大きくなつた雑草の間にアユが沢山いるのを知りま

した。熟練の釣り人は大雨
が上がり水の引いた直後
に無数のアユを生けとつ
ていました。

金目川の魚類へージ 21

金目川の下流で産卵、
卵の数はけた違いに多い、
海で冬を過ごします。
ボウスハゼはお坊さんに
似て前頭部が丸く膨らんだ
独特の風貌です。

10本の黒っぽい帯があります。私は腹びれの強い吸盤に手を付けたらいつまでも離れず驚いたことがしばしばありました。

大根川ーおおねがわー を歩く

大根川の源流に近い秦野市南矢名瓜生野に住んでから30年をこえた。

はじめて大根川を意識したのは、娘が小学生の頃に大根川の清掃に参加したとき。ゴミと生活排水でひどく汚れていた。

湘南里川づくりフォーラム2018に参加して、急に大根川を歩いてみたくなった。

☆ウィキペディアより引用

大根川は、神奈川県、主に秦野市を流れる金目川水系の二級河川。神奈川県秦野市南矢名にある権現山の東斜面（標高約300m）に源を発し東に流れる。平塚市との境界付近で善波川を合わせ、平塚市岡崎で鈴川に合流する。中流部はコンクリート護岸の典型的な都市小河川である。東海大学前駅を過ぎた秦野平塚市境付近では、水はけの悪い低湿地となっていて、特に鶴巻地区では過去に何度も水害を繰り返した。



龍法寺

東海大学前駅

おおね公園

大畑橋



源流付近～ 桜の名所弘法山（写真左）に隣り合う権現山東側に大根川の源流（写真中央）がある。弘法大師縁の龍法寺（写真右）の近くから川が突然始まる。川底に少しの水が流れる。



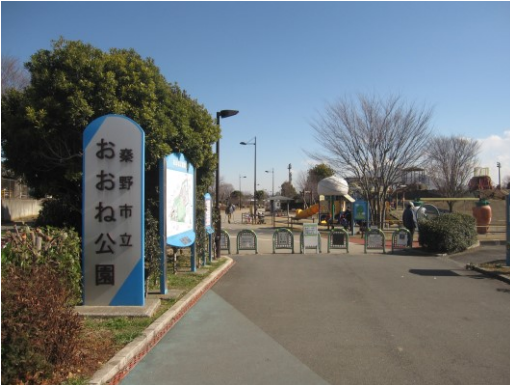
住宅地から東海大学前駅付近～大根川は南矢名瓜生野地区から、東映団地などの住宅街を縫うように流れているが川の風情は感じない。住宅地を抜けて安東橋（あんどうばし）に至ると川幅も広くなる。人気スポットの天然温泉『さざんか』（写真右）が見える。



駅前商店街の人通りの多い暁橋（ひのでばし）辺りからようやく
2級河川の風情。残念ながら、川の中にゴミが目立つ。鯉（コイ）
の群れ、コガモたちの遊ぶ
姿が可愛い。（写真中央と
右）暁橋（ひのでばし）か
ら県道 613 号曾屋鶴巻線
を渡ると平塚市真田地区
に入る。



秦野市立おおね公園～ さらに進むと、おおね公園があり真田橋
（さなだばし）に至る。川を挟んだ真田地区は住宅と商業施設が
急ピッチ開発中である。



善波川（ぜんぱがわ）～ 真田橋（さなだばし）を横切り、鶴巻地区のあじさいロードを楽しみながら進
むと、大根川ポンプ場（写真右）付近で。善波川（ぜんぱがわ）と合流する。今でも、大雨で真っ先に洪
水警報が発令される地点。最近、河川整備がほぼ整った。

大根川の終点。
鈴川。
さらに
金目川にも合



流～真田橋（さなだばし）から土手を
しばらく歩くとやがて県道 63 号の大畑
橋（おおはたばし）に至り、大根川は終点。ここから伊勢原方面からの鈴川（すすかわ）と合流し、
さらに進むと、平塚大橋付近で、鈴川は金目川に合流する。



最後に、大根川の長さ（5.2km）に驚いた。10年後の新たな発見を楽しみにしたい。

金目川水系流域ネットワーク会員 吉田

マイクロプラスチック

現場の採取調査活動

平成30年4月20日、神奈川県環境科学センターの池貝部長から、今年はマイクロプラスチックの環境への影響を調べたいとの話があり、マイクロプラスチックの採取方法と採取場所候補地の説明を受けました。

マイクロプラスチックは大きなプラスチックのゴミが海の波にもまれ太陽の光を浴びることでもろくなり、砂浜の砂などと一緒に小さく細かになったものが海洋に漂って

動物プランクトン↓シラス

↓イワシ、カキ等の貝類

↓カモメ、マグロ、サメ、鯨

↓動物、人間

と食物連鎖で

私たち人間に取り込まれます。

マイクロプラスチックには有害な物質も付着していることで危険性も言われています。

協力団体として金目川水系流域ネットワークも、このようなものが湘南海岸、西湘海岸でどのくらいの数があるかの調査に協力しています。



「湘南里川づくり」取組みのご紹介



写真は平成30年度の「平塚市緑化まつり」に出展し、会の活動をPRした様子です。

湘南里川づくりに一緒に取り組む「湘南里川見守り隊」を募集しています。詳細は、ホームページで！

里川づくり

検索

丹沢大山を源流に湘南地域を流れ、相模湾に注ぐ金目川（かなめがわ）水系。

“湘南里川（やつかわ）rivers”とは、湘南地域のふるさとの川である金目川水系の河川等を地域の貴重な財産として次世代を担う子どもたちに引き継いでいくため、市民（湘南里川見守り隊）と行政の協働により清掃、草刈、植栽、生き物観察会など河川等の保全・活用に取り組む活動のことです。

この「湘南里川づくり」を流域全体に広げていくため、市民と行政とが連携し、設立された「湘南里川づくりみんなの会」。

「湘南里川づくりみんなの会」では、現在、「湘南里川見守り隊」の会員を募集中です。

みなで、活動情報を交換したり、金目川水系の理想像について語り合いませんか？

ぜひ、ご参加ください！

問合せ先

湘南里川づくりみんなの会事務局

神奈川県湘南地域県政総合センター企画調整課

電話 (0463) 22-2711 (内線 2111~3)

ホームページアドレス <http://www.satokawa.com/>